

# ひたちなか市教育委員会会議録

平成25年 第1回 ひたちなか市教育委員会1月定例会 会議録						
平成25年1月24日	開会 午後2時00分	閉会 午後2時45分				
○場 所	那珂港支所 第1会議室					
○出席委員	委員長 小田島 俊夫	委員長職務代理者 石田 厚子	委 員 西野 信弘	委員 沓澤 久美子	教育長 木下 正善	
○欠席委員						
○会議に出席した構成員	補	職	名	氏 名	出・欠	
				教育次長	大内 康弘	出席
				総務課長	岩崎 龍士	出席
				参事（教育担当）	鈴木 清八	出席
				参事兼指導室長	森井 榮治	出席
				施設整備課長	加藤 清二	出席
				学務課長	白石 好浩	出席
				生涯学習課長	小池 勝幸	欠席
				生涯学習課長補佐	根本 京子	出席
				中央公民館長	川越 義則	出席
				中央図書館長	大和田 雅一	出席
				文化振興室長	斉藤 新	出席
	○事務局員				総務課係長	佐藤 浩之
				総務課主幹	黒澤 一彦	出席
				総務課主事	小野寺 優	出席
○議 事						
1 議 案	選挙第1号 教育委員会職務代理者の指定について					
	報告第1号 平成24年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者の決定について					
教育委員会事業報告	①	平成24年度ひたちなか市教育振興大会について				
	②	ひたちなか市子ども伝統文化フェスティバルについて				
	③	地域創造大賞（総務大臣賞）受賞について				
	④	インフルエンザによる学級閉鎖の状況について				

平成25年第1回ひたちなか市  
教育委員会1月定例会会議録

開会 14:00

**選挙第1号 教育委員会委員長職務代理者の指定について**

委員長 石田委員の任期が昨年の12月に満了となりましたが、議会の承認を得て再任となりました。ひたちなか市教育委員会職務代理者は任期満了により空席となっていることから、選挙を行うものであります。

ひたちなか市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、ひたちなか市教育委員会委員長職務代理者の指定を行います。なお、指定は同規定により指名推薦の方法で行いたいと思います。異議ありませんか。

〈異議なしと発言する者あり〉

委員長 異議なしとのことなので、私から指名したいと思います。異議ありませんか。

〈異議なしと発言する者あり〉

委員長 引き続き石田委員にお願いしたいと思います。異議ありませんか。

〈異議なしと発言する者あり〉

委員長 それでは、石田委員が委員長職務代理者になることに決定いたしました。

石田委員 (あいさつ)

委員長 (あいさつ、開会の宣言)

**報告第1号 平成24年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者の決定について**

総務課長 平成24年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育振興大会表彰者の決定について1月の23日、24日の2日間にわたり児童生徒、教諭の係る調査研究部門の審査を実施しました。その中でそれぞれ表彰者が決定したので報告します。

表彰者の件数ですが、教育に関する調査研究部門では個人、団体合わせて14件、中学校の部が12件となっています。教育委員会の指定校実施部門では2件となります。スポーツ活動部門では小学生の部49件、中学生の部が21件。芸術文化部門では小学生の部21件、中学生の部で18件となります。善行活動部門が1件、ボランティア活動部門で16件となりました。学校保健部門と特別表彰部門は今回は無しとなっています。

児童生徒のスポーツ、芸術文化、善行活動、ボランティア及び特別表彰の審査基準は内規で定まっていますので、その内容について説明します。

まずスポーツに関する表彰ですが、基準としては県大会で3位以上の団体又は個人。県大会以上の地方規模の大会、例えば関東大会や東日本大会といった規模の大会で入選した団体又は個人。全国大会でも同じように入賞した団体又は個人ということで推薦を頂き、表彰するという内容になっています。

次に芸術文化部門になりますが、こちらも基本的にはスポーツと同じような基準となっています。順位が明確でないものについては、例えば金賞や優秀賞、特別賞等の上位入賞については基準内であるとなっています。さらに地方大会レベルのもの、全国大会では上位入賞が基準内に、佳作入賞等については全国大会レベルのみ含まれます。

善行活動は、災害に対する未然防止や人命救助、消火活動、事件解決に貢献する行為、環境美化活動、奉仕活動または福祉活動。こうしたものを一定期間、3年以上を目安にしていますが引き続き行われていることが基準になります。

ボランティア部門については、例えば学校に畑を貸してくれている個人がいますが、その場合は2年以上。栽培や技術支援でも2年以上等が基準になっています。学校施設の修繕や補修、交通安全の労力の提供については、内容にもよりますが単年度で対象にしています。また各学校や図書館で読み聞かせ等の図書ボランティアが行われていますが、週1回程度実施して2年以上継続していることが表彰の対象になります。

今話したような一定の基準を設けて審査会の方で審査をしてもらい、表彰者を決定しました。件数が多いので主だったものについてのみ説明させていただきます。スポーツ部門では、小学生の部で東石川小学校の生徒が全国大会であるチャレンジジュニアゴルフオープンで22名の選抜者の中から5位入賞しました。同じく小学生の部で前渡小学校の生徒が2012年第9回ロープスキッピング選手権大会に出場しました。これは縄跳びの競技でいくつか種目があるのですが、3分間にどれだけ跳べるかを競う種目において日本で優秀な成績を修めたため、アメリカのフロリダ州で実施された世界大会に出場したということです。中学生の部では勝田第二中学校の生徒が平成24年度全国中学校体育大会第52回全国中学校水泳競技大会の男子飛板飛込の種目で7位入賞をしました。

芸術文化部門では、小学生の部で佐野小学校の生徒が小学校家庭科副読本「調べてみよう！食べてみよう！おみそ」読書感想文コンクールで最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞しました。中学生の部では平磯中学校の生徒が、これも全国レベルですが第8回IPA情報セキュリティ標語・ポスター・4

コマ漫画コンクールの4コマ漫画部門で最優秀賞を受賞しました。

このようにスポーツ、芸術文化部門での表彰者を決定しました。

善行活動部門の活動ですが、田彦中学校の3年生9名が、夏休みも含めて朝7時20分から20分程度、学校周辺のゴミ拾いや挨拶運動、小学生への交通安全指導に取り組んだということで、この生徒たちの様子が他の生徒にも影響を与え、マナーアップ運動が学校全体に広まっているということです。この活動は毎年続けられていて昨年度も表彰対象になりました。

ボランティア部門ですが、前渡小学校や長堀小学校の受賞者については、除染作業に重機を用いて取り組んで頂いたということで表彰の対象になっています。また磯崎小学校の受賞者は平成17年12月に今市市で起きた事件をきっかけに、現在まで7年間にわたり、毎週月曜日の一斉下校時に児童に付き添い、不審者や交通安全に気を配り安全確保に努めていることと、自治会長としての役職から地域の自治会員にも声を掛けて児童の下校時の付き添いに協力を得ている、ということで対象になりました。

全体的に、平成23年度の件数は145件でしたが、平成24年度については全体で154件となり、9件増となりました。

スポーツ、文化、善行活動、ボランティアについては以上となりますが、教育論文については指導室から説明があります。

指 導 室

教育に関する調査研究部門ですが、今回の応募の中で例年にないものという事で、養護の先生が、学校の緊急時の対応について職員研修を行ったというような論文が出されています。校内救急体制の充実を図るための方策という勝田一中の論文になります。これが今までになかった論文内容です。さらに市毛小学校の養護教諭の先生が、食に関する論文を出してもらいました。また若手の教員がICT機器、身近なスマートフォンの活用や理科でICT機器を使用するといった新しい指導法に向けた論文等を出された点が昨年までと比べて変わった点です。

【質疑、意見等】

委 員 長

先ほど紹介のあった方達は壇上で表彰するということですか。

総務課長

そのようなわけではなく、全体で見て特に活躍された方を紹介させてもらいました。

委 員 長

前渡小の生徒は昨年も表彰された方でしたね。

総務課長

はい。そうです。

委 員 長

善行活動部門ですが、なかなか対象になる生徒が少ないでしょうし学校の方でも判断が難しいでしょうが、今回は1グループのみということですね。

総務課長

はい。

- \* 報告第1号 平成24年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者の決定について、報告がありました。

### 教育委員会事業報告① 平成24年度ひたちなか市振興大会について

総務課長 平成24年度ひたちなか市教育振興大会の期日についてですが、平成25年の2月15日金曜日、午後1時50分から午後4時30分までの日程になっています。会場はひたちなか市文化会館の大ホールになります。当日の日程になりますが、13時50分から14時35分の間で今回の表彰者に表彰状と感謝状を贈呈します。間に休憩を挟みまして、最優秀論文の発表と中学生生徒会サミットの報告ということで、いじめ問題についての報告があります。その後教育長メッセージ、学校紹介ということで中根小学校と那珂湊第一小学校。アトラクションが田彦中学校となります。以上の日程で予定しています。

#### 【質疑、意見等】

特になし

- \* 教育委員会事業報告① 平成24年度ひたちなか市振興大会について、事業報告がありました。

### 教育委員会事業報告② ひたちなか市子ども伝統文化フェスティバルについて

文化振興室長 第三回になります、ひたちなか市子ども伝統文化フェスティバルを今度の2月3日、日曜日に文化会館大ホールで行うことになりましたので説明させていただきます。参加団体については東石川小学校、那珂湊第一小学校、那珂湊第二小学校、那珂湊第三小学校、はくあき磯の会郷土芸能クラブ、これは今回出演するために磯崎小学校と平磯小学校、平磯中学校3校合同で作ったクラブになります。通常の活動はそれぞれの学校で行っていますが、今回は合同で出演してもらいます。その他民間の団体としていずみ伝統音楽保存会、磯節道場、岩井友紀一門会ひたちなか支部、平磯まつり囃子保存会、元町みろく保存会、以上10団体に出演してもらいます。開場12時30分、開演13時ということでぜひご覧いただければと思います。

#### 【質疑、意見等】

委員長 入場が無料になっていますが、観覧者の方は多いのですか。

文化振興室長 勝田の方に多く見てもらってしまっていて、昨年度は文化会館ではなくしあわせプラザで行ったのですが、客席が満席になってしまい、立ち見の方も多く出たことから今回は文化会館の大ホールで行うことになりました。今年初め

での取組としまして、高齢者の方にも見てもらおうと社会福祉協議会を通して、高齢者クラブにも通知を出しました。

- \* 教育委員会事業報告② ひたちなか市子ども伝統文化フェスティバルについて、事業報告がありました。

### 教育委員会事業報告③ 地域創造大賞（総務大臣賞）受賞について

文化振興室長 地域創造大賞を、本市の文化会館が受賞したということで報告いたします。地域創造大賞ですが、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国的に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として創設されまして、芸術文化による地域振興やふるさとづくりといった文化的な活動や教育普及等に功績のあった団体が表彰されるものです。

本年度、こちらに受賞のための申請をしたところ、受賞ということになりました。受賞のポイントとしては、芸術鑑賞事業により子どもたちの育成に尽力した点になります。保育所・幼稚園・小学校・中学校の全学年を対象にした芸術鑑賞事業を実施。昭和60年度から平成23年度までの27年間で、計508公演、のべ38万3千人が鑑賞。また音楽のアウトリーチ事業にも力を入れるなど、地道で継続的な取り組みにより子どもたちの育成に尽力したということで表彰の対象になりました。

昨週の18日金曜日に、東京の方で市長に出席いただいて表彰を受けてきました。

#### 【質疑、意見等】

委員長 本年ひたちなか市が受賞ということになりましたが、受賞するのは難しいのですか。

文化振興室長 毎年10団体以下と決まっています、今年は7団体の受賞となりました。関東地方ではひたちなか市の文化会館だけが今回の受賞となりました。県単位でバラつきがありますが、茨城県内で今まで受賞したのは水戸の文化会館、日立のシビックセンター、小美玉市の四季文化館みの〜れが受賞してまして、ひたちなか市で4館目になりました。全く受賞していない県もありまして茨城県は多い方だと思います。今までに全体で60団体程が受賞しています。

委員長 文化会館は、開館が1984年からと歴史がありますから、施設が受賞することは嬉しいことですね。

委員長 なかなか受賞できない賞ですので文化会館事業として素晴らしいことだな

と思います。今後も続けていくこととなりますのでよろしくお願いします。

- \* 教育委員会事業報告③ 地域創造大賞（総務大臣賞）受賞について、事業報告がありました。

#### 教育委員会事業報告④ インフルエンザによる学級閉鎖の状況について

学務課長 ひたちなか市内のインフルエンザによる学級閉鎖につきまして、昨年12月18日に勝田第二中学校で初めて発生しました。これが茨城県で昨年始めて学級閉鎖をした事例です。その後年末年始の休みをはさんだ直後には、インフルエンザでの学級閉鎖はなかったのですが、1月15日から急激にインフルエンザによる学級閉鎖が増えました。現在ひたちなか市保健所管内でインフルエンザの警報が発令中です。また県内でもインフルエンザが流行しているという事で注意喚起をしています。15日から現在までで幼稚園と小学校で37クラスが学級閉鎖となりました。本日学級閉鎖となっている学校が小学校で6校、公立幼稚園が4園、合わせて19学級となります。特に那珂湊第二幼稚園は4歳児1クラスと5歳児1クラスが共に学級閉鎖となり、幼稚園そのものが明日まで休園となっています。

昨年では1月24までに学級閉鎖は7クラスだったのですが、すでに昨年のペースを大幅に上回っています。昨年も1月末から3月末まで学級へ閉鎖が続きましたし、今年もインフルエンザが非常にはやっていますので、引き続き学校の方に手洗いやうがいの徹底を呼びかけています。

#### 【質疑、意見等】

委員長 ひたちなか市保健所管内の発生率が高いのですね  
学務課長 県内全域にインフルエンザの警報が発令されましたが、県内ではひたちなか市と東海村のインフルエンザの患者の指数が他と比べて高いです。

委員長 これから中学校が受験に向けて大変な時期を迎えますので、大変心配されますしインフルエンザにかからないようにしていかなければなりません。

昨日テレビでマスクの使い方を細かく説明していましたが、マスクを隙間なくすることで防ぐことができるとやっていました。各学校でもそのような情報を得たら、ぜひ広めてもらいたいと思います。

西野委員 学級閉鎖は、どのようになったらなるものなのですか。

学務課長 学級閉鎖の県の基準がありまして、クラスで欠席数が20%を超えた段階で学校医と相談をし、校長が判断をするという基準があります。目安としては20%を超えると学級閉鎖になると思います。ただ20%に満たなくても、今後インフルエンザ等の流行がはやると予想される場合は学級閉鎖になる場

合もあります。

西野委員  
学務課長

それはクラス単位ですよ。

クラス単位になります。同じ学年で20%を超えるクラスが何クラスか出てくると、それは学年閉鎖となります。那珂湊第二幼稚園は4歳児と5歳児の2クラスしかないのですが、今回どちらも20%を超えたため休園となりました。

委員長

寒い時期が続きますのでなかなか下火にはならないと思いますが、大事にしてもらえればと思います。

\*教育委員会事業報告④ インフルエンザによる学級閉鎖の状況について、事業報告がありました。

その他

指導室長

ある市内中学校において器物破損がありました。その後関係していた者とその関係者から謝罪があり、学校からも指導をしております。今後繰り返さないように、しっかり学校と家庭、地域が手をつないで生徒を見て行きたいと思えます。

教育長

今自分たちの行ったことが社会的に許されないことが分からない児童生徒がいます。またそういうことを分からせる機会も少ないのではと思います。警察に協力をお願いする前に、教育委員会としても生徒の問題に向き合っ対応しております。このことで自分のしたことにケジメをつけて、新しい生活を切り開いていかなければならないということがわかる、一つのきっかけとなる出来事になったのではと思います。私としては、子どもとは愛情でしか繋がらないという点を強調して指導したつもりですので今後の成長を見守っていききたいと思えます。

難しい問題ですが、教育委員会もその様に関わることで、生徒が自分で心地良い思いを抱いて卒業してもらいたいと思えます。

文化振興室長

芸術祭の春の祭典といい、文化協会に加盟している全ての団体が参加するイベントが文化会館で行われます。舞台部門と演技部門の2つがありまして、それぞれ毎年大好評のものがたくさんあります。一日がかりのイベントですので、機会がありましたらご覧いただければと思います。

委員長

(閉会の宣告)

閉会 14:50